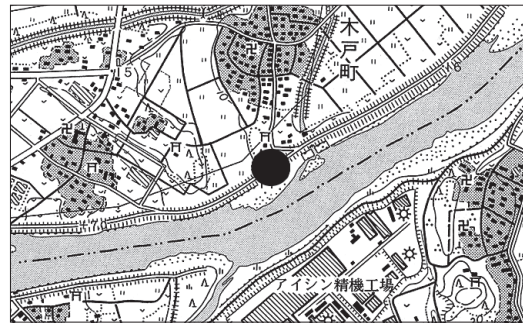


きど 木戸城跡 範囲確認調査

所在地 安城市木戸町・藤井町
調査理由 矢作川河川改修における範囲確認
調査期間 平成11年4月～5月
調査面積 500 m²
担当者 木下 一・松田 訓・武井繁樹



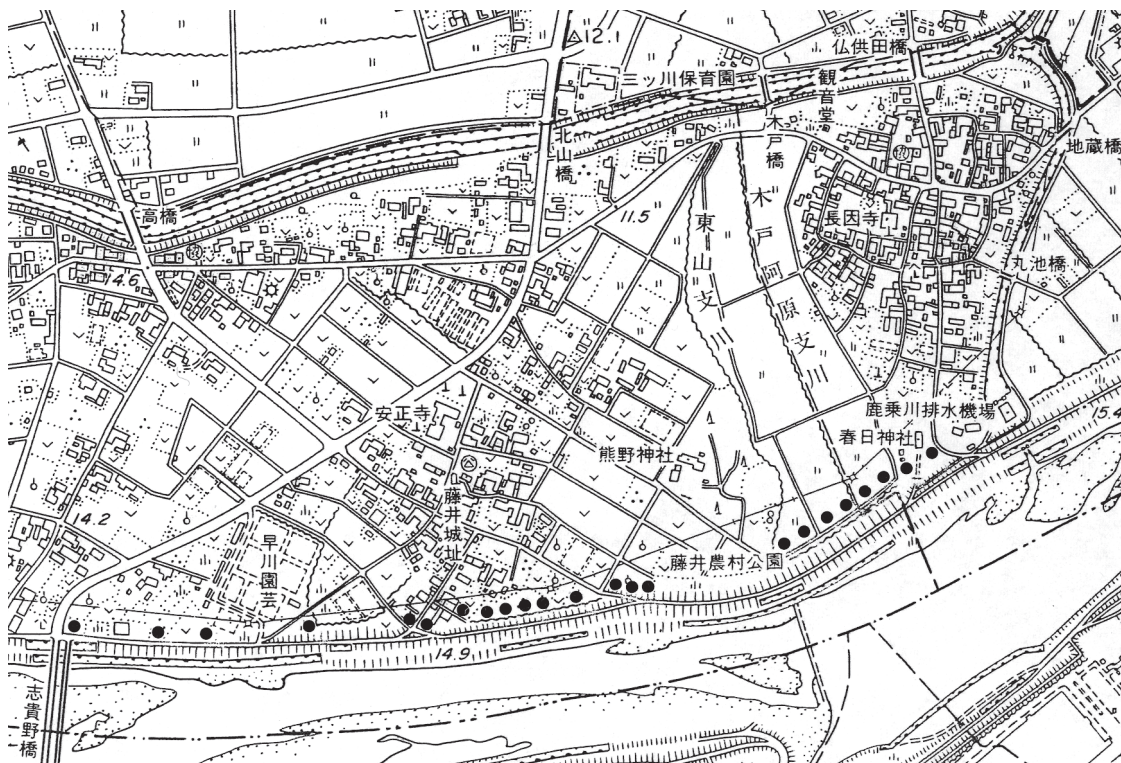
調査地点 (1/2.5万「西尾」)

調査の経過 調査は矢作川河川改修予定地内における範囲確認調査で、建設省豊橋工事事務所より愛知県教育委員会を通じた委託事業として、平成11年4月12日から5月24日にかけて実施した。調査面積は、500 m²である。

立地と環境 木戸城跡は、矢作川右岸脇に位置し、安城市木戸町・藤井町に所在する。この周辺は、碧海台地の縁にあたり、また、矢作川によって形成された沖積地でもあることから、水田や畑地が点在し、自然堤防上には小規模な集落が形成されている。木戸城跡の北には、碧海台地の縁辺部に沿って鹿乗川が流れ、その流域は、弥生時代から古墳時代の遺跡が広がっていることが、過去の調査から確認されている。

調査の概要 今回の調査地は、矢作川右岸の堤防直下で長さ1,300 m内に24ヶ所のテストトレンチを設定した。この試掘坑の中で、人為的な掘削及び盛土行為が確認できたのは、最東端の2ヶ所のみである。特に東端の試掘坑は、現存する木戸城東側における濠と土塁の南側に設定し、現存遺構の延長線上にあたる部分で、掘削及び盛土行為が確認できたため、木戸城関連遺構の残存と判断した。

(木下 一・松田 訓・武井繁樹)



調査地点位置図 (1:10,000)